



4×4デジタルTV/GPS一体型 フィルムレスアンテナキット

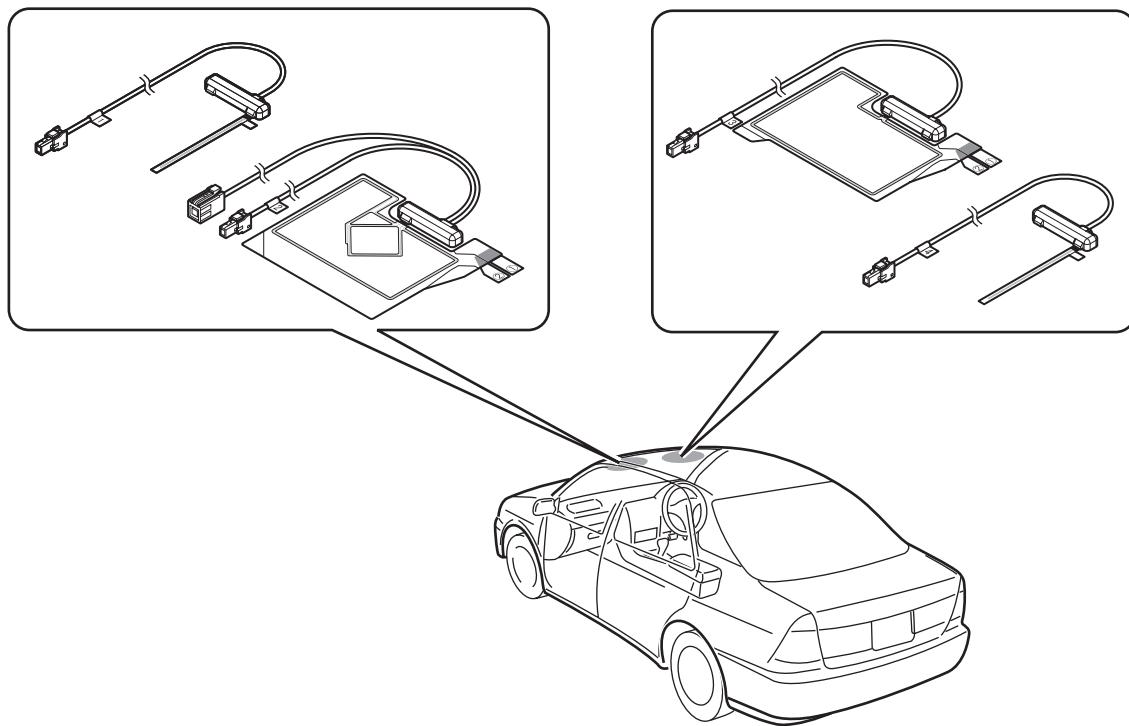
# DTV-F18/DTV-FAT18

## 取付説明書

### お客さまへのお願い

- この説明書では、載せ替え用TVアンテナキットの取り付けについて説明しています。ナビゲーション本体の取り付けについては、ナビゲーション本体または取り付けキットの「取付説明書」を参照して下さい。
- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書および「取付説明書」(ナビゲーション本体または取り付けキットに同梱)をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本製品の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
- 安全運転のため、ご使用の前に、この説明書および「取扱説明書」(ナビゲーション本体に同梱)、「取付説明書」(ナビゲーション本体または取り付けキットに同梱)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」および「取付説明書」は、ECLIPSEのWebサイト内「お客様サポート」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>)からダウンロードいただけます。

### 取付概要図



# 構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

## ● DTVF18

<b>①</b> フィルムアンテナ (左席外側) 識別番号 : ①	<b>②</b> フィルムアンテナ (左席内側) 識別番号 : ②	<b>③</b> フィルムアンテナ (右席内側) 識別番号 : ③
<b>④</b> フィルムアンテナ (右席外側) 識別番号 : ④	<b>⑤</b> ハーネス固定テープ	<b>⑥</b> クリーナー

※①、④ フィルムアンテナは形状がよく似ているため、間違ないように必ずハクリ用タブに記載された貼付位置表示を確認してください。

※①、②、③、④ フィルムアンテナを取り出す際、決してコードをひっぱらないでください。

フィルムアンテナに傷をつけないよう慎重にゆっくりと厚紙を開いてフィルムアンテナを取り出してください。

## ● DTVFAT18の場合

<b>⑦</b> フィルムアンテナ (左席外側・右席外側)	<b>⑧</b> フィルムアンテナ (左席内側)	<b>⑨</b> フィルムアンテナ (右席内側)
<b>⑩</b> ハーネス固定テープ	<b>⑪</b> クリーナー	

# 作業の進め方

## 1) 構成部品の確認

(☞ 構成部品)

## 2) バッテリーの⊖端子を外す

(☞ 本体または取り付けキットの「取付説明書」)

## 3) 接続を確認する

(☞ 作業前の準備 (DTVFAT18 の場合))

## 4) 作業前の準備※ DTVFAT18 の場合

(☞ フィルムアンテナ取り付け上のご注意)

## 5) フィルムアンテナを取り付ける

(☞ 本体または取り付けキットの「取付説明書」)

## 6) アンテナコードを配線する

(☞ フィルムアンテナ取り付け上のご注意)

## 7) メインユニットを取り付ける

(☞ 本体または取り付けキットの「取付説明書」)

## 8) バッテリーの⊖端子を元に戻す

# ● 安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



：しなければならないことを表しています。



：してはいけないことを表しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。



## 警告

### ① 本機は DC12V ⊖アース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしないでください。火災の原因となります。

### ② 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。

プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

### ③ 本機を次のような場所には取り付けないでください。

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けないでください。交通事故や怪我の原因となります。

### ④ 車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行ってください。火災の原因となります。

### ⑤ ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。

破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

### ⑥ 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。

保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

### ⑦ 本機を分解したり、改造しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

### ⑧ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。

規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

### ⑨ 画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

### ⑩ 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

### ⑪ エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。

車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

### ⑫ 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

### ⑬ 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。

ショートにより火災、感電の原因となります。

### ⑭ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。



## 警告

### ① 必ず付属の部品を指定通り使用してください。

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあります危険です。

### ② 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

### ③ 取付説明書で指定された通りに接続してください。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



## 注意

### ① 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす場合があります。

### ② 雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。

本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

### ③ しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。

本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

### ④ 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。

金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。

また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

### ⑤ 本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。

通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

### ⑥ コードが金属部に触れないように配線してください。

金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

### ⑦ コードの配線は、高温部を避けて行ってください。

コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

### ⑧ コード類を決して途中で切断しないでください。

コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

### ⑨ 電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。

機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

### ⑩ コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。

雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。

### ⑪ 本機を車載用として以外は使用しないでください。

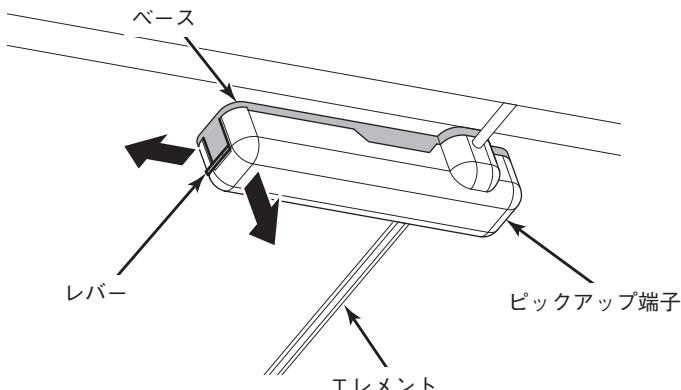
感電や怪我の原因となることがあります。

### ⑫ 本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。

取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

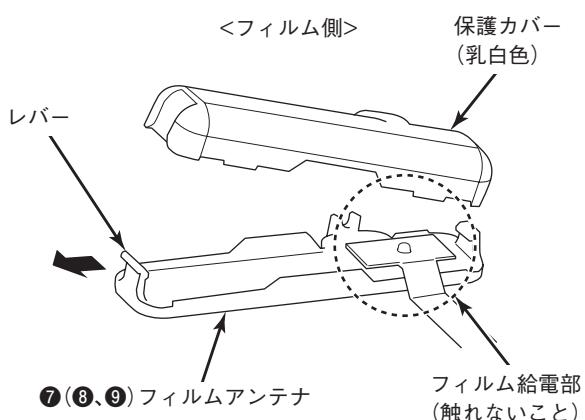
# ● 作業前の準備(DTVFAT18の場合)

## ピックアップ端子の取り外し方法



- ① フロントガラスについているピックアップ端子のバーを広げ、ピックアップ端子を取り外す。
- ② フロントガラスからベース部およびエレメントを取り外す。

## 補修品の取り付け準備

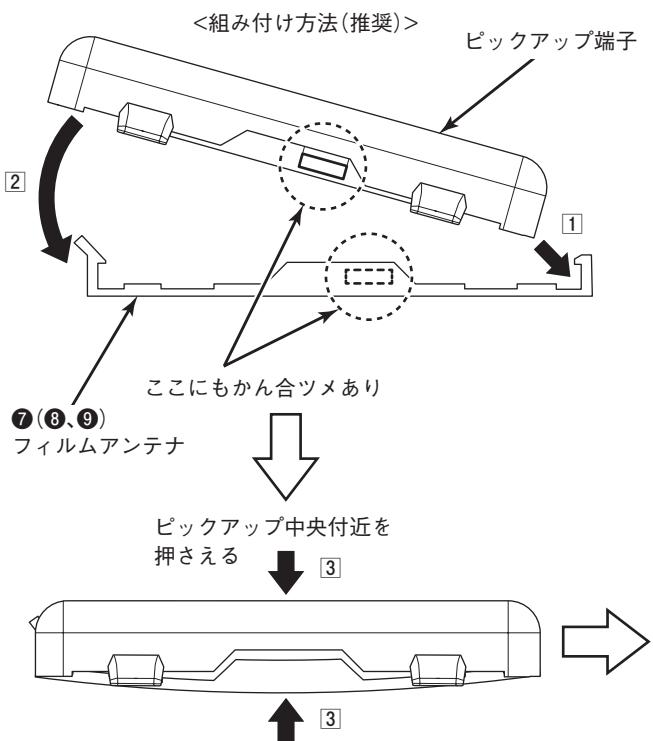


- ③ レバーを広げ、⑦(⑧、⑨) フィルムアンテナから保護カバーを取り外す。

### △ 注意

- フィルム給電部保護の為、ピックアップ端子と組み付けた後にガラスへの貼り付けを行ってください。
- 作業時にフィルム部を引っ張らないでください。

## ピックアップ端子の取り付け方法



- ④ ⑦(⑧、⑨) フィルムアンテナにピックアップ端子を組み付ける。

### △ 注意

- ピックアップ中央付近にもかん合ツメがあるので、必ず最後にピックアップ中央付近を押させてかん合されていることを確認してください。



# ● アンテナ取り付け上のご注意



## 注意

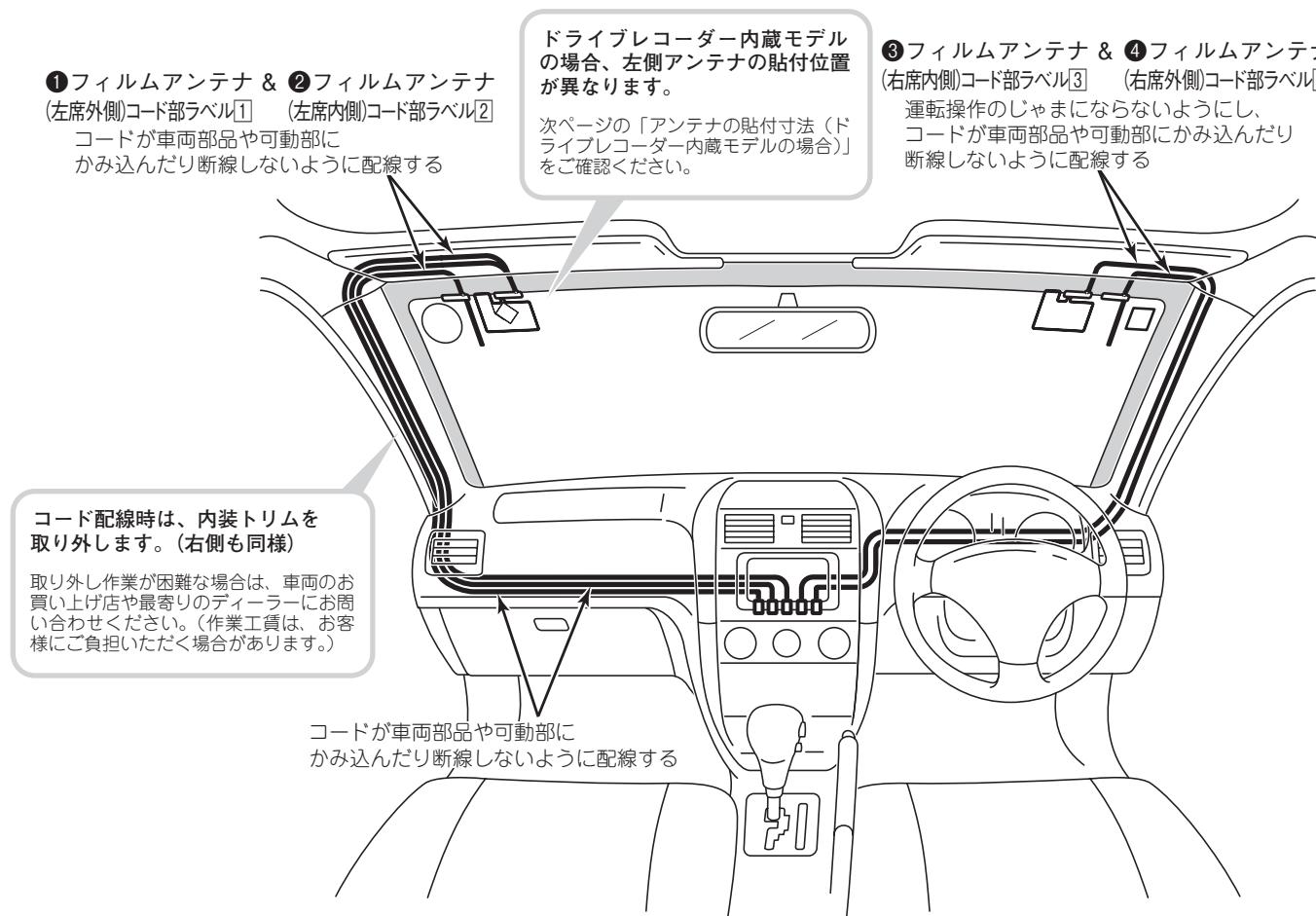
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しきできません。貼付位置を確認して慎重に作業を行ってください。
- 取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。
- フィルムアンテナをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性液体を使用して拭かないでください。
- 車両に装着されているカメラ、センサー類の検知範囲内にはフィルムアンテナを貼ることはできません。詳しくはディーラ等にご相談ください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めことがあります。



## アドバイス

- 次のような場合、電波の受信性能が低下したり、電波を受信できないことがあります。
  - \* 指定位置や寸法を守らずに貼り付けた場合
  - \* フロントガラスに内蔵されているアンテナに重ねて貼り付けた場合
  - \* 特殊なフロントガラスやフィルム(ミラータイプ、熱線反射タイプや熱線吸収タイプなど)を使用している場合
  - \* 車内または車両周辺にテレビ受信の妨げとなるような電磁波を発する機器がある場合
- 次のような場合、テレビの映像や音声が乱れることがあります、故障ではありません。
  - \* ワイバーやエアコンを動作させた場合
  - \* 電波塔のすぐ近くや、山陰や電波塔から遠いところなど、電波状況の悪い場所にいるとき
- 気温が低い(20°C以下)時やガラスが曇ってしまう時は、フィルムアンテナの粘着力が低下します。車内ヒーターやデフロスターをONにしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。
- 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼り付け位置は変わりません。

## フィルムアンテナ取付概要図

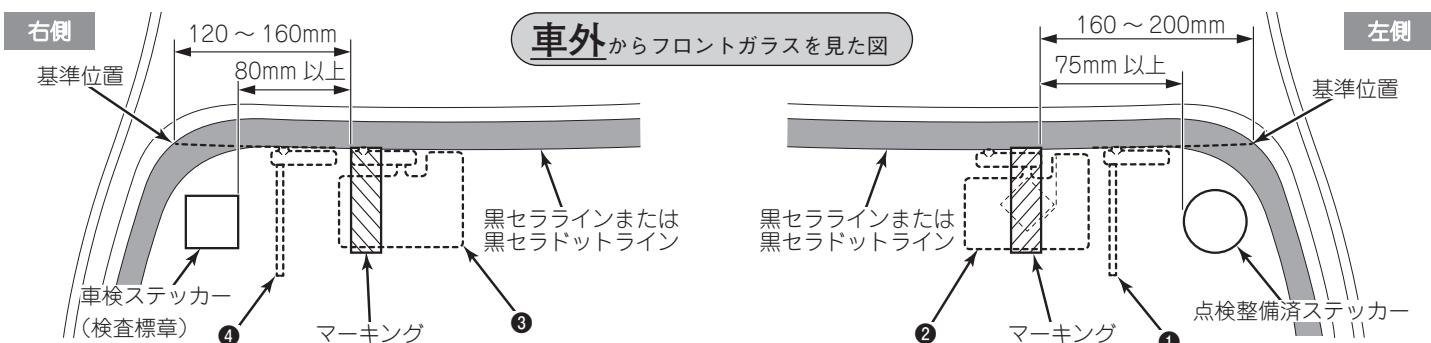


# ● アンテナの取り付け及びアンテナコードの配線

## 1 ①、②、③、④ フィルムアンテナの貼付位置を決める

### アンテナの貼付寸法（ドライブレコーダー内蔵モデル以外の場合）

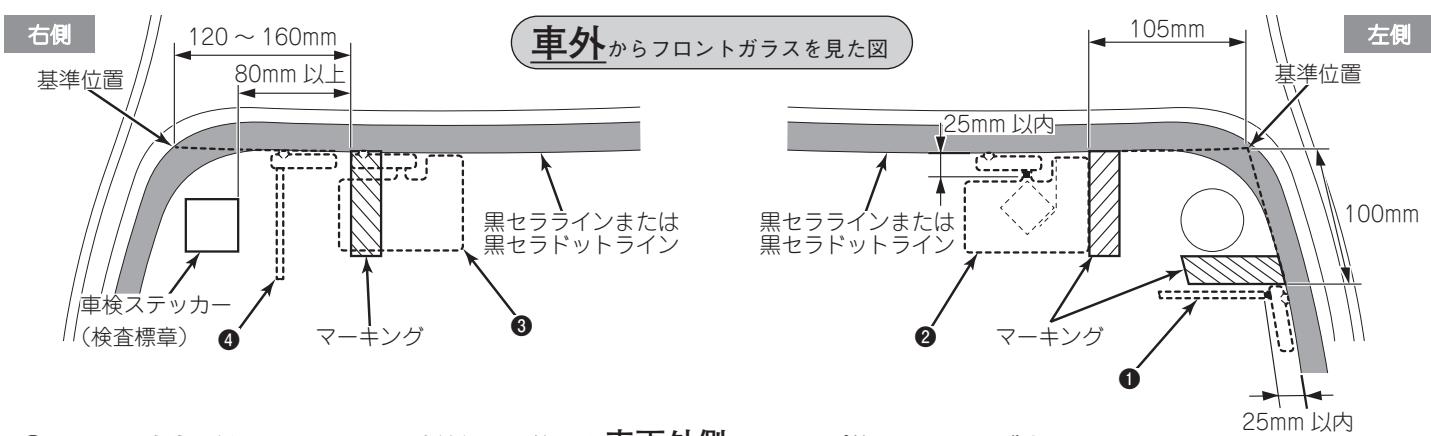
● 貼付位置に障害物等がないことを確認してください。



- ① 上図の寸法に従い、アンテナの貼付位置2箇所を車両外側からテープ等でマーキングする。

### アンテナの貼付寸法（ドライブレコーダー内蔵モデルの場合）

● 貼付位置に障害物等がないことを確認してください。



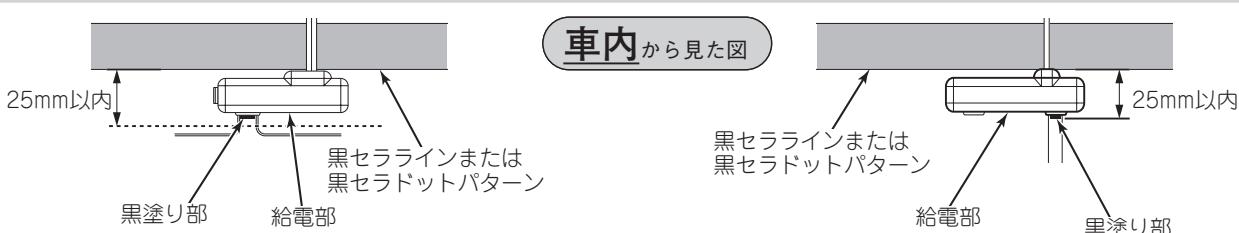
- ① 上図の寸法に従い、アンテナの貼付位置3箇所を車両外側からテープ等でマーキングする。

#### アドバイス

- フィルムアンテナは、車検ステッカー（検査標章）や点検整備済ステッカーと重ならないように取付位置を決めてください。
- フロントピラートリムにアンテナコードがかみ込む場合は、フロントピラートリムを切り欠いてください。
- 図は、カメラコードを左側に配線する場合を示しています。カメラコードを右側に配線する場合は、左側のフィルムアンテナ（①、②）はドライブレコーダー内蔵モデルの場合と同様に貼り付け、右側のフィルムアンテナ（③、④）の貼り付け位置を図の左側と同様に変更してください。

#### △ 注意

- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、給電部、アンテナ根元の黒塗り部が黒セラライン※1 または黒セラドットパターン※2 から25mm以内に収まるよう貼り付けてください。



- 給電部および黒塗り部が上図の例のように、黒セララインまたは黒セラドットパターン下端から25mm以内に収まっていれば問題ありません。

※1 黒セラライン : 黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い部分。

※2 黒セラドットパターン : 黑色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒いドット(点々)部分。

#### アドバイス

- セパレータおよびフィルムシートは、まだはがさないでください。
- テープはフロントガラスに跡が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。

## 型紙の貼付方法

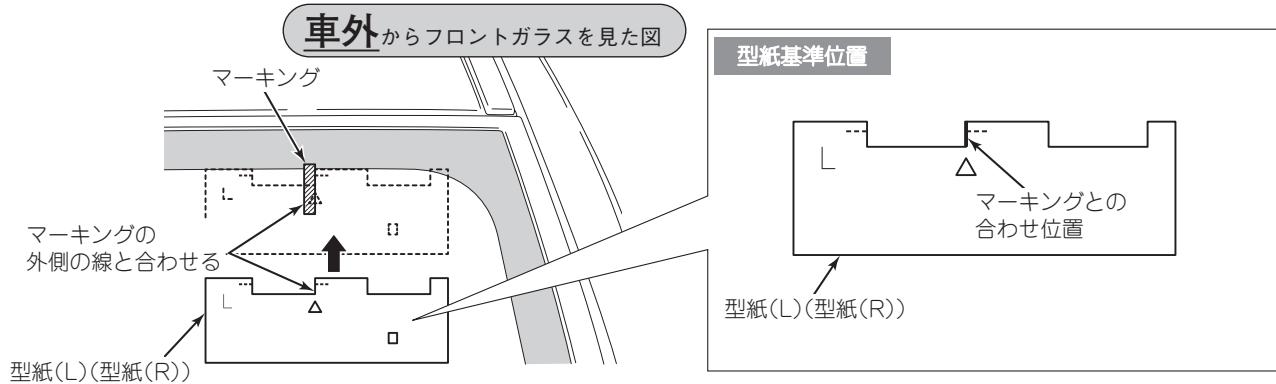
● 図は、L側を示しています。R側も同様に作業を行ってください。



- ② ②(③) フィルムアンテナを台紙から取り出す。
- ③ ②(③) フィルムアンテナの台紙から型紙(L)(型紙(R))をミシン目に沿って切り取る。

### アドバイス

- 型紙識別用の "L" ("R") 表示を読める向きにして、作業を行ってください。
- ドライブレコーダー内蔵モデルの場合、型紙は片側のみ使用します。

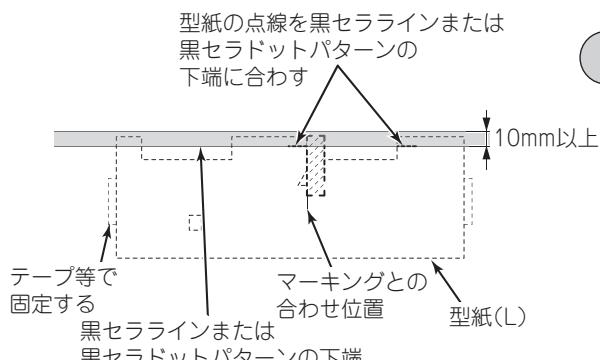


- ④ 型紙(L)(型紙(R))をマーキングに合わせフロントガラス(車室外)にテープ等で固定する。

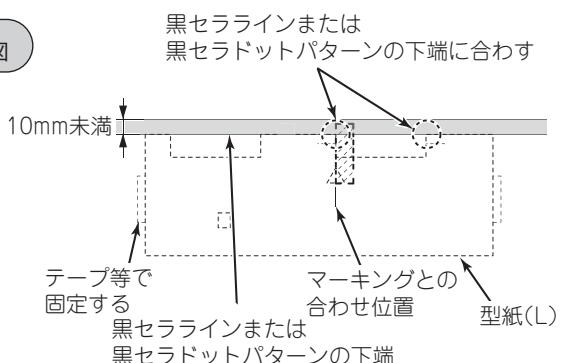
### アドバイス

- 型紙は、黒セララインの幅に応じて下記のように高さを合わせてください。

#### 黒セララインの幅が10mm以上の場合



#### 黒セララインの幅が10mm未満の場合



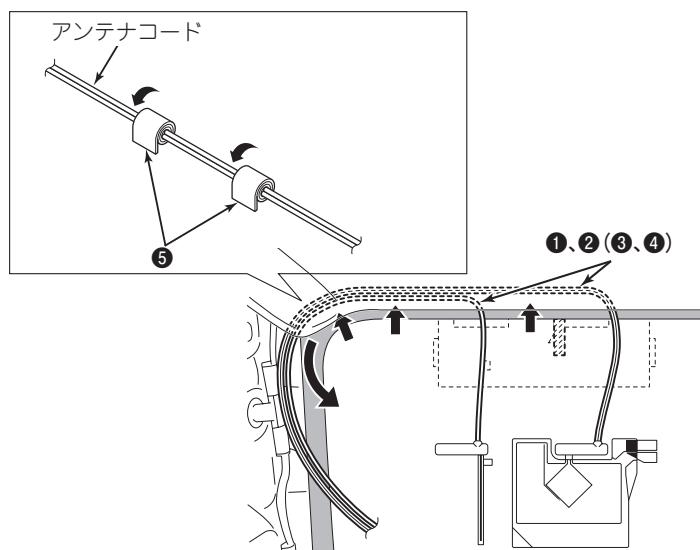
- テープはフロントガラスに跡が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。

- ドライブレコーダー内蔵モデルの場合、型紙は片側のみ使用します。

## 2 ①、②、③、④ フィルムアンテナを貼り付ける

### フィルムアンテナの貼付方法

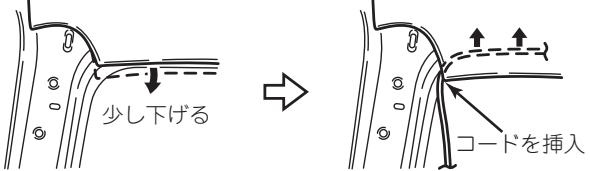
● 図は、L側を示しています。R側も同様に作業を行ってください。



- ① ①、②(③、④) フィルムアンテナのコードをルーフライニング内に収める。

#### アドバイス

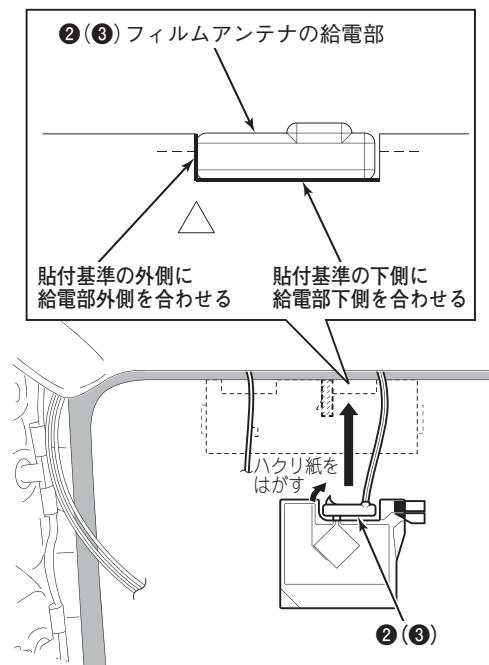
- ルーフライニングを少し下げてアンテナコードを挿入してください。



- アンテナコードがルーフライニングからはみ出す場合は、ハーネス固定テープを巻きつけてルーフライニング内に収めてください。

#### 注意

- ルーフライニングに無理な力を加えて折り曲がらないよう注意してください。
- アンテナコードを強く引っ張ったり、ストレスやかみ込み等がないようにしてください。



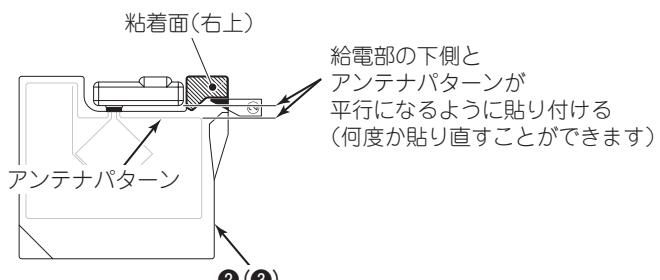
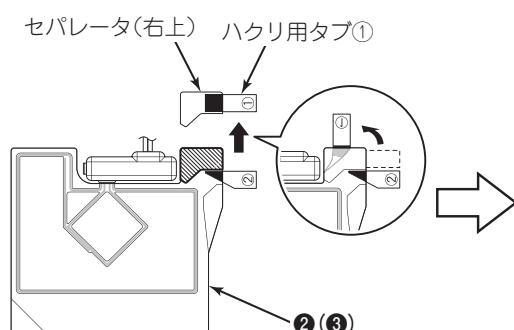
- ② フィルムアンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分などを付属のクリーナーでよく拭きとる。  
 ③ ②(③) フィルムアンテナの給電部端子からハクリ紙をはがす。  
 ④ ②(③) フィルムアンテナの給電部を貼付位置に合わせて正確に貼り付ける。  
 ⑤ ②(③) フィルムアンテナの給電部を約10秒間両手で均等に強く押し付ける。

#### 注意

- 粘着力が低下するため、給電部を貼り直さないでください。
- 給電部を貼り付ける際、手が給電部の両面テープや、貼付位置にふれないように注意してください。

#### アドバイス

- 給電部を10秒程度両手ですみずみまで均等に強く押してください。
- 貼り付ける際、貼り付け位置ガラス表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。
- ドライブレコーダー内蔵モデルの場合、型紙は片側のみ使用します。型紙を使用しない側は手順1の①で貼り付けたマーキングに合わせ、②(③) フィルムアンテナの給電部を貼り付けてください。

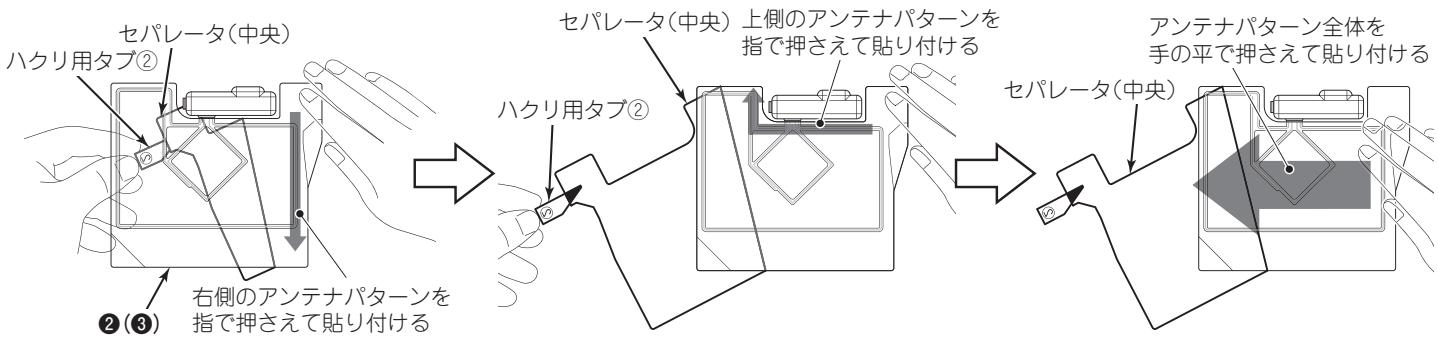


- ⑥ ②(③) フィルムアンテナからハクリ用タブ①を使いセパレータ(右上)をはがす。

- ⑦ ②(③) フィルムアンテナの粘着面(右上)をガラス面に貼り付ける。

#### 注意

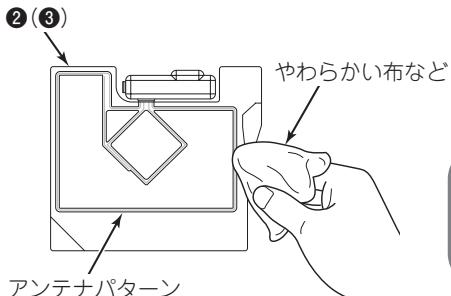
- 給電部端子とアンテナパターンが平行になるように粘着面を貼り付けてください。
- ②(③) フィルムアンテナにシワがつかないように注意して貼り付けてください。



- ⑧ 粘着面(右上)を押さえながら②③(3)フィルムアンテナからハクリ用タブ②を使いセパレータ(中央)を少しづがす。
- ⑨ ②③(3)フィルムアンテナのセパレータ(中央)を少しづつはがしながら粘着面(中央)をフロントガラスに貼り付ける。

#### ⚠ 注意

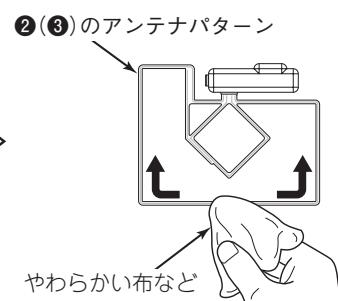
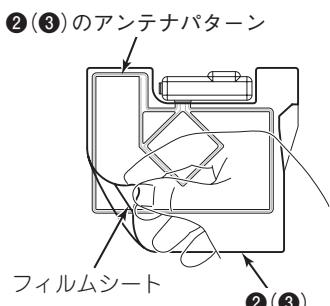
- セパレータは、一度にはがさずにゆっくりはがしながらフィルムアンテナを貼り付けてください。
- セパレータ側にアンテナパターンが残った場合は、セパレータを元に戻し、アンテナパターン部をこすってから再度セパレータを180°折り返すようにはがしてください。



- ⑩ ②③(3)フィルムアンテナのアンテナパターン部を布などでこすってガラス面に定着させる。

#### ⚠ 注意

- アンテナパターン部をこする際は、ヘラなど固いものを使用しないでください。アンテナパターン部の破損の原因になります。
- アンテナパターンを布などで押さえる際、シワや傷がつかないように注意してください。



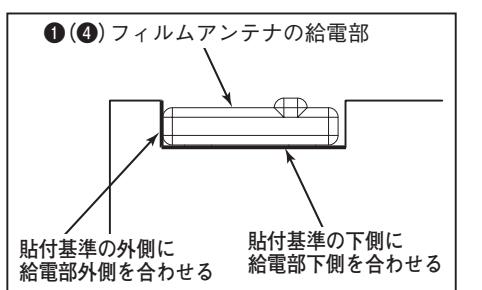
- ⑪ フィルムシートを角から180°折り返すようにゆっくりとがす。

- ②③(3)アンテナパターンがフィルムシート側に残る場合は、フィルムシートを元に戻し、手順の⑩からやり直してください。

- ⑫ ②③(3)アンテナパターンを布で押さえて、ガラス面にしっかりと定着させる。

#### ⚠ 注意

- フィルムシートを勢いよくはがすとアンテナパターンもはがれる恐れがあります。
- アンテナパターンがフロントガラス面に貼りついていることを確認しながらはがしてください。



- ⑬ フィルムアンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分などを付属のクリーナーでよく拭きとる。

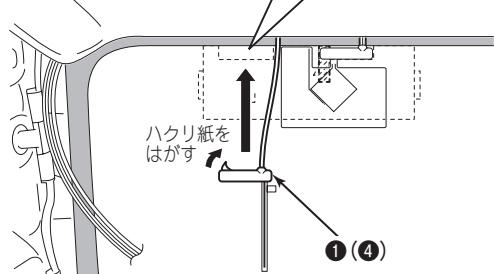
- ⑭ ①(4) フィルムアンテナの給電部端子からハクリ紙をはがす。

- ⑮ ①(4) フィルムアンテナの給電部を貼付位置に合わせて正確に貼り付ける。

- ⑯ ①(4) フィルムアンテナの給電部を約10秒間両手で均等に強く押し付ける。

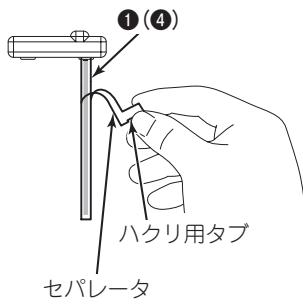
#### ⚠ 注意

- 粘着力が低下するため、給電部を貼り直さないでください。
- 給電部を貼り付ける際、手が給電部の両面テープや、貼付位置にふれないように注意してください。



#### アドバイス

- 給電部を10秒程度両手ですみずみまで均等に強く押し付けてください。
- 貼り付ける際、貼り付け位置ガラス表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。
- ドライブレコーダー内蔵モデルの場合、型紙は片側のみ使用します。型紙を使用しない側は手順1の①で貼り付けたマーキングに合わせ、①(4) フィルムアンテナの給電部を貼り付けてください。



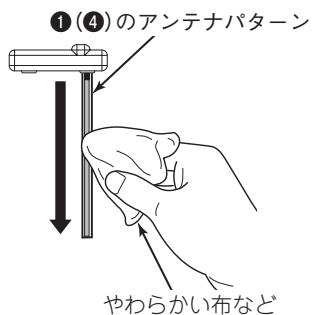
- ⑯ ハクリ用タブを利用して①(4)フィルムアンテナからセパレータをはがしながら、上から下に向かって少しづつ押さえ付け、ガラス面に貼り付ける。

**△ 注意**

- ①(4) フロントフィルムアンテナにシワがつかないように注意して貼り付けてください。

**アドバイス**

- ①(4) フィルムアンテナと平行になるように貼り付けてください。



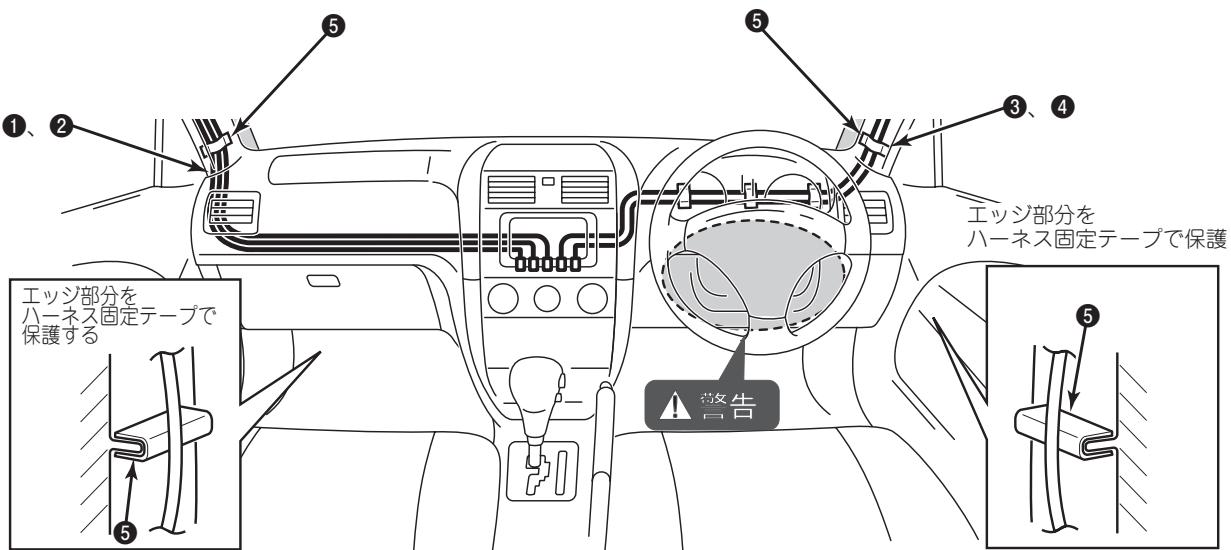
- ⑰ やわらかい布などで①(4) フィルムアンテナのアンテナパターンを定着させる。

**△ 注意**

- シワや傷がつかないように注意して①(4) フロントフィルムアンテナを貼り付けてください。

- アンテナパターンに沿って数回圧着してください。

### 3 ②GPSアンテナコードおよび①、②、③、④フィルムアンテナコードを配線する



- ① ②GPSアンテナコードおよび①、②、③、④フィルムアンテナのコードをハーネス固定テープ等で固定しながらオーディオ取付位置まで配線する。

**△ 警告**

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、ハーネス固定テープでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

**△ 注意**

- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にハーネス固定テープを貼り付けてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。コードがどうしてもかみ込んでしまう場合は、内装トリムに切り欠き等を入れてください。
- あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。
- コードは、ハーネス固定テープや、お手持ちのバンドクランプ等の固定部材を使用して確実に固定してください。